



# 梅二小だより

R8 1月30日  
No.10

校長 竹花 正徳

<http://www.adachi.ed.jp/adauni/>

## 季節の中で

校長 竹花 正徳

近年、地球の温暖化で四季がわかりにくくなってきているときさやかれるようになってきていますが、2026年の冬は暦のとおり、大寒のときに寒波がやってきて寒さを体感している今日この頃です。節分と聞くと「立春の前日」「豆まき」を思い浮かべる人が多いと思います。もともと立春、立夏、立秋、立冬の前日を「節分」と言っていたようです。今では立春の前日のみを節分というようになりました。この節分は、寒い冬が終わりいよいよあたたかな春ということが人々にとって大きな喜びであったことや稲作や農業に係わっていた人々の仕事はじめてが重なっていたことにあると思われまます。またこの日には年越しや邪気を払いの行事等が行われていました。豆（マメ）をまくことは「魔」を「滅」することやまめに暮らすことなどから大きなマメ・大豆が鬼打ち豆として選ばれたのではないのでしょうか。「鬼は外！ 福は内！」2026年をさらによい年にしていきましょう。

寒い中でも、梅二小の子供たちは頑張っています。

大寒の寒い日でしたが、1月22日(木)には、3年生全員で足立消防署に行ってきました。消防署の方から、足立区の路地にも入ることができるように少し小型の消防車があることや2台1組でまず火災現場に向かうこと、1トンの水を積んでいる消防車があることなどの説明を聞いて熱心にメモをとっていました。特別救助隊の壁を降りる、人を救助する等の訓練を目の前で見せていただきました。また、消防隊員が背負っている空気ボンベを実際に持たせてもらったり背負ったりしました。さらに、全員が消防車の運転席に座らせてもらうなどの体験もしてきました。子供たちの中から「消防士になったのは？」という質問に対して「災害のときに活躍していた消防士がかっこよくて憧れて」「救急車に乗る救急隊員になりたい」という答えが返ってきて、キャリア教育にもつながっていると感じました。学校から出て、学んだことを自分の地域、足立区の中で使い、さらに学んでいると実感しました。学校から帰ってきたら、特に地域見学、社会科見学などの後には、今日はどんなことを学んだのか聞いてみてはいかがでしょうか。

1月中は体育の時間や中休みには持久走に取組をしてきました。健康観察、カードへの記入等ありがとうございました。27日には梅二小恒例の持久走記録会を荒川の河川敷で行いました。たくさんの方に子供たちを応援していただきました。あたたかな日差し青空のもと自分のペースで一杯走ることができました。

2月に入ってから、4日に芸術鑑賞体験事業でミュージカル「美女と野獣」を5年生が観に行ってきます。去る11月には学芸会で自分たちも舞台出演を経験した後なのでより楽しく観ることができることと思います。21日には金管バンドクラブがギャラクシティーで行われる「合唱・合奏研究演奏会」に出演します。4年生から6年生までのメンバーは本番に向けて「Under the Sea」「Let it Go～ありのまま～」の練習をしています。担当の音楽の先生だけではなく、東京藝術大学の先生にもきていただき子供たちに指導していただいています。本番が楽しみです。24日には10歳の集いで4年生が発表します。同じ日に各学年の保護者会も予定しています。よろしくお祈りします。